

## 「江別市かわまちづくり計画」登録証の伝達式を行います

～都市と自然が調和するまち江別で広がる水辺の賑わい～

江別市が策定した「江別市かわまちづくり計画」（石狩川水系千歳川）が、国土交通省のかわまちづくり支援制度に8月9日登録されましたので、かわまちづくり計画登録証の伝達式を下記のとおり行います。

なお、かわまちづくり計画登録証は、札幌開発建設部長から江別市長へ伝達される予定です。

国土交通省では、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す取組「かわまちづくり」を推進しています。「かわまちづくり」とは、地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取組みを連携することにより、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取組です。

### 記

#### 1. 「江別市かわまちづくり計画」登録証の伝達式次第

日時 令和4年8月22日（月） 10時00分～10時30分  
会場 江別市役所本庁舎 2階 公室（市長室）  
北海道江別市（TEL 011-381-1023）  
出席者 江別市長、北海道開発局札幌開発建設部長ほか

#### 2. 添付資料

別紙1 北海道における「かわまちづくり計画」の登録箇所  
別紙2 計画の箇所別概要

全国の取組は以下国土交通省ホームページでご確認いただけます。

かわまちづくりHP：<https://www.mlit.go.jp/river/kankyو/main/kankyou/machizukuri/>

※取材を希望される報道関係者の方は、開催時刻の10分前までにお越し願います。取材に当たっては、マスク着用等の感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。



「かわまちづくり支援制度」の概要は、以下の北海道開発局ホームページに掲載しています。[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kawa\\_kei/ud49g7000000ahtj.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kawa_kei/ud49g7000000ahtj.html)



かわたび  
ほっかいどう

川へ行こう！川を楽しもう！  
川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」を推進します。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 電話（ダイヤル）011-611-0329

河川計画課 課長 川住 亮太（内線 3291）

河川計画課 事業専門官 村上 泰啓（内線 3327）

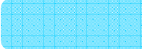

札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>

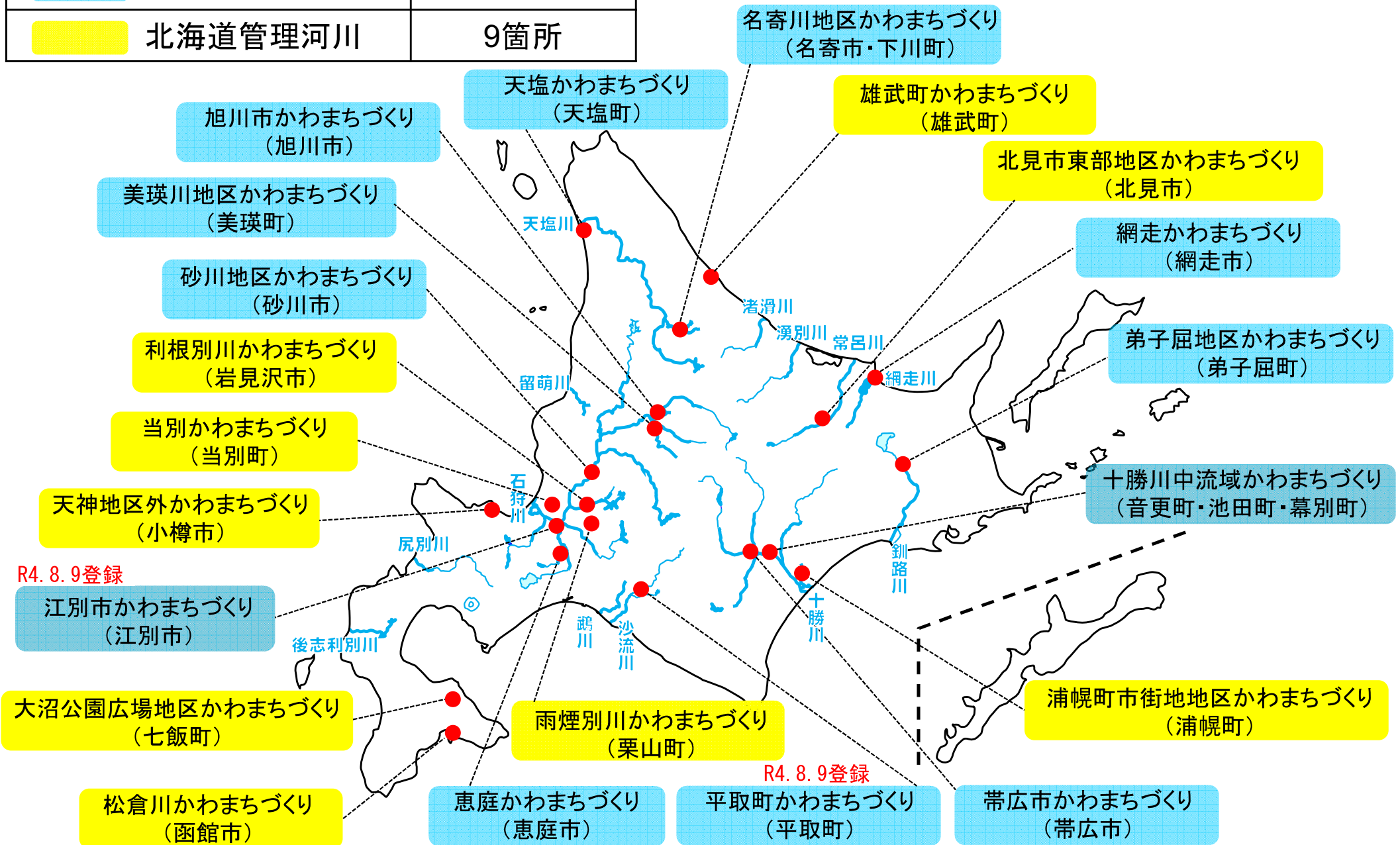
江別市経済部 電話（代表）011-381-1023

商工労働課 課長 川島 雅一（内線 2510）



# 北海道における「かわまちづくり計画」の登録箇所

R4.8.9時点	
 国管理河川	12箇所
 北海道管理河川	9箇所



R4. 8. 9登録

R4. 8. 9登録

対象河川：一級河川 石狩川水系千歳川【国管理河川】

市町村名：北海道江別市

推進主体：江別市



### 1. 概要

江別市では「えべつ未来づくりビジョン」に基づき、地域資源を活かし江別観光の魅力をさらに高めるとともに、商店街の活性化や観光による産業の振興等を推進しています。地域資源の発掘と活用、観光・イベント情報の発信を行い、江別市のイメージアップ、物産と観光が融合した江別ブランドの確立を図っています。

この取組を充実させるため、本計画では、石狩川合流点付近の千歳川の水辺整備を行い、水辺・周辺の歴史的建造物・まちをつなぐことで、まちなかの回遊性・親水性を高め、賑わいの創出による地域の活性化を図ります。

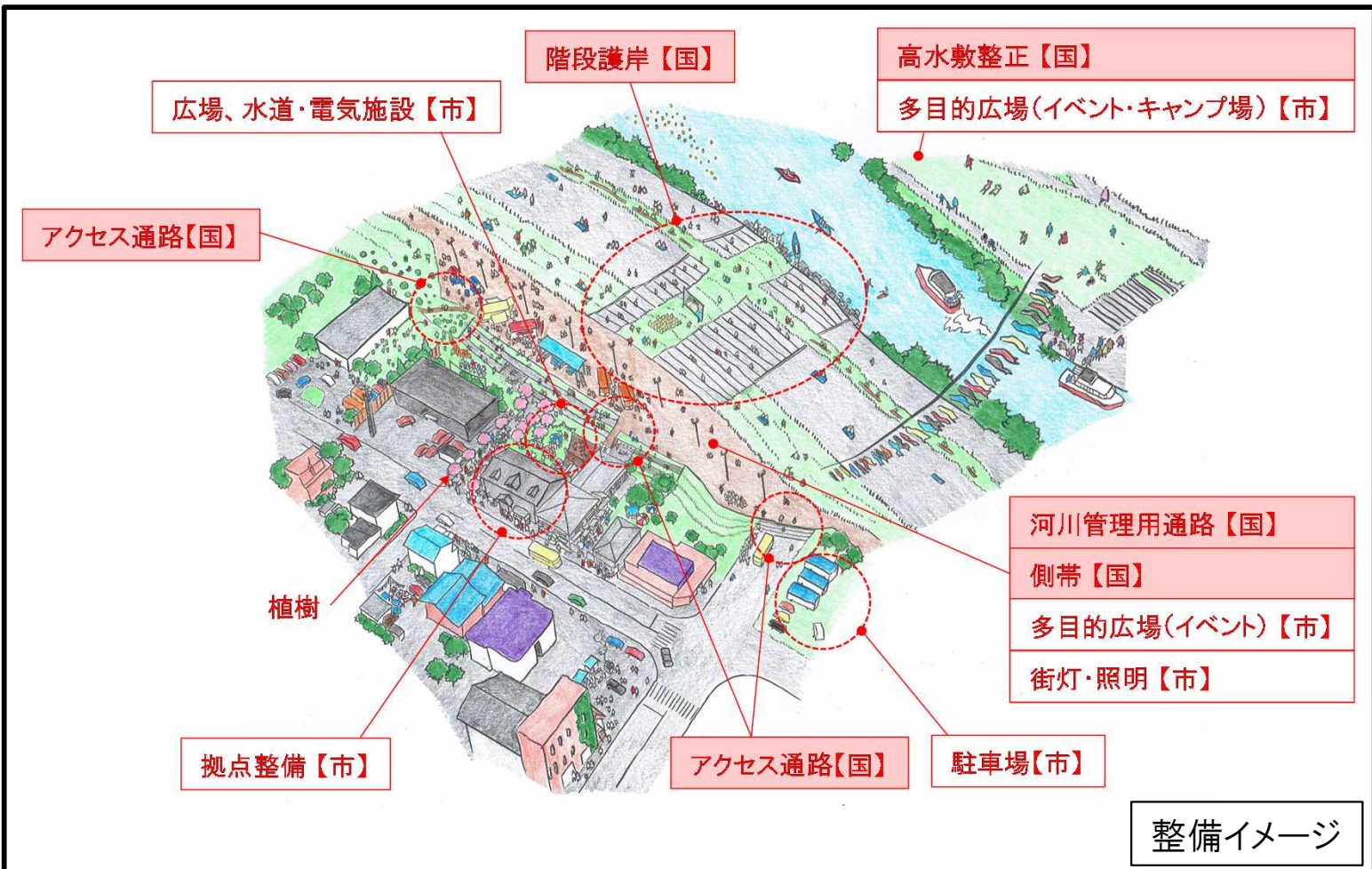
国土交通省では、この取組に対し、必要な河川管理施設の整備のほか、河川空間において営利活動を実施する場合には、河川占用敷地許可準則22に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

### 2. ハード施策の内容

- 国土交通省：側帯、階段護岸、高水敷整正、河川管理用通路、アクセス通路
- 江別市：拠点整備、多目的広場、駐車場、街灯・照明、水道・電気施設

### 3. ソフト施策の内容

- 国土交通省：都市・地域再生等利用区域の指定 等
- 江別市：千歳川の水辺空間を活用した新たなイベントや冬のアクティビティ等の企画、水辺・歴史的建造部・まちをつなぐ広域周遊観光コースの設定 等



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。